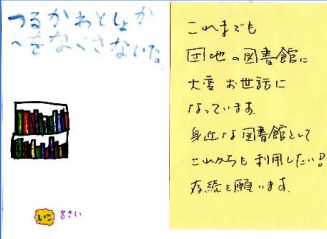
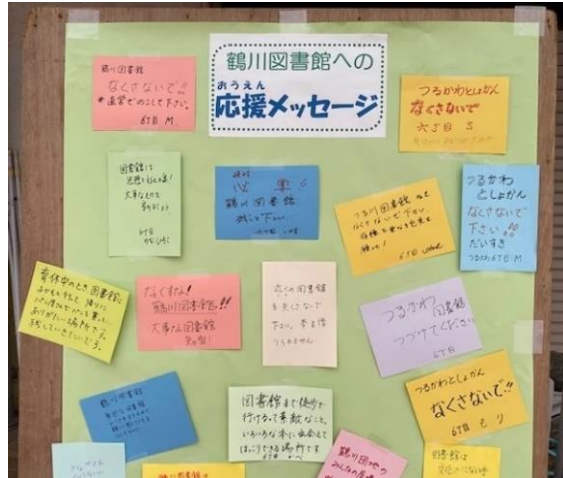



2021年10月17日 鶴川図書館応援まつり 各ブースの報告

<p>ブース名</p>	<p>1.私たちにとって鶴川図書館とは ～中学生の視点から</p>	<p>2.鶴川図書館を考える</p>	<p>2-2.一言応援メッセージ</p>
<p>スタッフ</p>	<p>○高橋門樹、篠田道秀</p>	<p>○清水陽子、藺田、鈴木</p>	<p>森弘子</p>
<p>1.ブースの活動内容</p>	<p>①鶴川ショートムービーコンテスト応募作品「鶴川図書館存続のために～中学生、浪江度の魂を訪ねて」（9月15日出品）をPCでエンドレス上映しました。 ②上記作品に出演した中学生たちの感想と監督の言葉を紹介するB1判パネル2枚を展示し、上映している作品と併せて見せながら来場者に説明しました。</p>	<p>・「鶴川図書館大好き会」便りNO.2のまつり参加者への配布 図書館のことなど話し合う ・「知恵の樹」No.258、「きんじょの本棚」のマップなどを置いて、希望者に配布。</p>	<p>まつりの参加者の大人や子どもに応援メッセージを書いてもらって、ボードへ掲示する。</p>
<p>2.当日の様子（参加者概数、参加者の様子、その他）</p>	<p>出演中学生の5家族がそれぞれ5名前後いたので、それだけで約25名。それ以外の人たちを合計して30名ほどがブースに来場され、説明をしました。</p>  	<p>参加者概数 チラシを配ったのは、50人くらい。話をしたのは10人くらい。鶴川を特集した「ペン」は興味を持っていただき、何人かの方にお買い上げいただいた。</p> 	<p>応援メッセージは全部で32枚集まりました。会場を歩いて、まつりの参加者に一言書いていただいたのですが、皆さん快く応じてくださいました。メッセージはどれも鶴川図書館に対する期待が込められたあたたかい内容で、たいへん勇気づけられました。改めて鶴川図書館が、地域の子どもや大人に愛されているということが分かりました。</p>  

<p>3. 感想</p>	<p>作品内容は、中学生5名が鶴川図書館、柿の木文庫、浪江虔氏私立鶴川図書館を訪問して、鶴川図書館職員、志村妙子氏（柿の木文庫）、野沢陽子氏（浪江氏長女）、坂内夏子氏（早稲田大学教授）と各施設内で対面・オンライン対話をしたという貴重な体験を15分間に収録してあります。これを鑑賞したのが鶴川図書館大好き！の会関係者とショートムービー出演者家族にとどまっているのはもったいない気がします。ショートムービーコンテストに出品しただけでなく、「鶴川の図書館・文庫活動の淵源」などと銘打って、監督、出演者、有識者らによる小規模なミニシンポジウムを中学校かどこかで開催してもよいかもしれません。</p>	<p>寒かったこともあり、座って話すことはありませんでしたが、たよりを配っていて、断られることがなかったのは好きの会が認知されてきた証しだと思いました。雨のためアーケードでの開催だったので、他の団体の方たちとの距離も近く、交流ができたのは収穫でした。隣のブースの高橋さんがショートムービーの説明から入り、図書館について詳しくじっくりとお話をして下さいだったので、助かりました。</p>	<p>お天気が雨で残念でしたが、晴れていたらもっとたくさんの方のメッセージが寄せられたと思います。各ブースの催し物は、それぞれによく準備され、まつり参加者に丁寧に対応していたのが印象的でした。皆さんお疲れさまでした。</p> 
<p>4. 次回以降実施のための課題、その他</p>	<p>もし「次回」の課題・構想というのであれば、このショートムービーの続編製作は可能でしょうか。鶴川の小学生や中学生が参加して、図書館・文庫に関連する何かを探求していくという連作は面白いと思います。一番大変なのは篠田監督ですが…。クラウドファンディングなどで制作費などを募り、主として篠田監督にお渡しできればいいです。以上、私の勝手な妄想です。</p>	<p>今回、ショートムービーで浪江先生のことや柿の木文庫のことなどが話題になりましたが、団地の方でもみんなが知っているわけではないと感じました。</p> <p>鶴川の再発見や鶴川にはこんな人のような身近なすごい人の紹介なども、興味を持っていただけるかもしれないと思いました。</p> <p>庄司さんのお母様のスケッチの展覧会とか、冒険あそび場とコラボして山歩きも、面白いかも。</p> <p>浪江さんの図書館に興味を持たれた方もいらっしゃいましたので、ツアーをしたらよろこばれるかもしれません。</p>	

応 鶴  
援 川  
メ ッ  
ッセ 書  
ー ジ 館  
の

- ・としょかんをなくさないで 本大好き ★5丁目★
  - ・鶴川図書館 身近な図書館 いつでも立ち寄れて親しく感じています。なくさないで
  - ・育休中の時、図書館に子どもと行って、帰りにパン屋さんでパンを買って…ありがたい場所です。残していきたいです。
  - ・鶴川図書館はずっと愛用しています。生活に不可欠ですので、続行を希望しています。
  - ・ゴロゴロしながらまんがよみたいね…。新聞も読ませてくれ！
  - ・本がたくさんあって、職員さんも丁寧に説明してくれたり、本を読む場所があったりするのだからなくさないでほしい
  - ・鶴川図書館大好きです♡ いつも利用させてもらっている身近な図書館★大切な図書館★なくさないで！
  - ・子どもが小さくて騒ぐときでも、車で来られて近くにあそび場のあるこの図書館なら安心して利用できます。
- 私は鶴川図書館にすごく支えられました。今も子どもとよく来ます。なくなったら困ります。
- ・つるかわととしょかん なくさないで!! 子どもたちも図書館大好きです♡子どもたちのホッとする場所 大事にしていきたいです!!

3.図書館クイズ	4.古本市	5.英語の絵本を読みましよう										
川又裕子	○守谷・郡・桜井・川又	為我井輝忠ほか3人										
<p>事前：問題を鶴川図書館の方にも考えていただき、それをもとに、大人用、中高生用、小学生用、小さい子ども用に分けてクイズ用紙を作成、夫々、20枚、20枚、30枚、30枚、合計100枚を印刷して準備。プレゼントも紙ごま、しおり、メダル合わせて100個用意。</p> <p>当日：古本市やおはなし会、その他の賑わってるブースに集まっている人に用紙を渡し、鶴川図書館に行けば答えが見つかる伝えた。回答を持ってきた子供や大人に、紙ごま、しおり、メダルの中から好きなものを選んでプレゼントした。</p>	<p>事前：水越さんに依頼して、新しい児童書などを寄贈していただいた。</p> <p>当日：古本の販売</p> <p>守谷がまず8時30分前に、水越さんが提供して下さった本を積んだ車で広場に乗り入れ。雨が大本降りでしたが、富岡さんのお店の前のアーケード下に店開きの準備。新たに提供された本と前回の残りの本を、事前に富岡さんがご自身の店舗の中にストックして下さっていて、それらを郡さん、桜井さん、川又さんが中心になって並べてくれました。玉川学園にお住いの今立さんは、雨の中をわざわざ真新しい話題の本を、何十冊もキャリーバッグに詰めて持って来て下さりました。</p>	<p>年7月に発足したグループですので、初めての参加、しかもよくわからずといった状態でした。実施したのは、英語に慣れ親しむためにイギリスやアメリカで出している絵本や易しい読み物を紹介し、辞書なしで読むということを推奨しました。</p>										
<p>雨の日にも関わらず小さい子どもの参加があると感じた☑</p> <p>回収数☑</p> <table border="0"> <tr><td>小さい子ども</td><td>15☑</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>16☑</td></tr> <tr><td>中高生</td><td>3</td></tr> <tr><td>大人</td><td>5☑</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39</td></tr> </table> 	小さい子ども	15☑	小学生	16☑	中高生	3	大人	5☑	合計	39	<p>団地住人から提供された古本の中に1980年に発行された『緑と広場 鶴川6丁目団地生活手帳』（鶴川住宅管理組合）という本がありました。あまり見覚えのない資料だったので、念のため鶴川図書館で確認してもらったら、鶴川図書館と中央図書館に1冊ずつ所蔵されていて両方とも禁帯出（貴重資料）扱いでした。職員に頼んで中央図書館の地域資料に回してもらいました。</p> <p>10時半過ぎ、まだ本を並べ切らないうちに、チラシで古本市があると知って来たという親子がさっそく子どもの本を物色。すぐに何冊か買い上げてくれました。その後も、荒天の割には次々に皆さんが覗いてくれて、郡さんの柔らかな売り声が賑わいを盛り上げます。その間も川又さんはどんどん本を並べ、桜井さんは図書館クイズの方までフォローしてくれました。それでも、富岡さんのお店のストックはやっと三分の一程度を出せただけで、2時30分すぎの撤収準備の段階ではスーパーからもってきた段ボールに本を詰めて、5箱分ほどは5丁目集会所の本棚に私と桜井さんで戻し、残りのおそらく10箱以上の本は後日富岡さんがご自身のお店の倉庫に運んでくださることになりました。お客さんは延べ50人くらいでしょうか。売り上げは24,600円余り、他に前川喜平さんの講演記録も売れました。</p>	<p>参加者は15名程度で、興味を示してくれた方ばかりでした。親子連れが多く、子供に読ませたいという意欲を両親が持っている方々ばかりでした。参加させてみたいという親もいましたが、今は大人向けの会なので、将来の課題となりそうです。</p>
小さい子ども	15☑											
小学生	16☑											
中高生	3											
大人	5☑											
合計	39											

当然ですが、晴れたらもっと楽しかったでしょう  
子ども達がプレゼントにウキウキしてました。



プレゼントを入れる箱はもう少し浅くて大きめの方が扱い  
易いとおもいます。  
大人向けのプレゼントも考えたらいいかなど思いました。

富岡さんには、始めから終わりまで大変お世話になりました。文庫本を見ていたお  
客さんが時代物を探しているという、なんと富岡さんの奥様が店のストックから  
たくさん探し出して持って来て下さったり、本当にありがたいことでした。

富岡さんに保管していただいている本はすでに毎回並べているもので、売れないも  
のが多くなりつつあります。古いものはブックオフに処分するなど、新たな品揃え  
が必要かもしれません。



雨が降り、結構寒かったので、大変でし  
た。興味を持つて頂いた方々が多かったの  
はよかったです、案内チラシや活動を知  
らせる文書などがあればもっとよかったと  
思います。そう言う方もおりました。次回  
への課題です。



今回はテントの中での活動がいいですね。  
「英語の街 町田」をもっと前面に出せる  
といいと思いました。



(応援メッセージの続き)

- ・つるかわとしょかんをなくさないで。8さい
- ・これまでも団地の図書館に大変お世話になっています。身近な図書館としてこれからも利用したい！存続を願います。
- ・鶴川団地のみんなの居場所♡鶴川図書館をなくさないで！！子どもも大人もみんなの願いです♡
- ・鶴川図書館は、みんなが大好きな図書館！ 私たちの図書館！！ 大切な図書館！！ いつまでも！！
- ・鶴川図書館をなくさないでください。存続とさらなる充実を願って！
- ・図書館は文化の担い手 いろいろな本に出会いたい！！
- ・図書館まで徒歩で行けるって素敵なこと。いろいろな本に出会えてほっこりできる場所です。6丁目K
- ・鶴川図書館、続けてください。
- ・図書館は思想と文化の泉！ 大事なものを守りましょう。6丁目N
- ・なくすな！ 鶴川図書館！！ 大事な図書館 知育！

6.本を出す夢をかなえませんか	7.おはなし会	8.さんさん音楽劇団	9-1.松ぼっくりで工作
いとう啓子	○庄司、鈴木（真）、鈴木（亜）、川又、長澤、郡、小学生3名、特別出演志村（チェロ）	志村、田島、三浦、ませぎ、吉村	青木成子ほか「みんなのそら」のメンバー3人
<p>自費出版に関するチラシ、パンフレット、これまで出版してきた本を紹介。立ち寄った人に、本作りについて説明していった。本は読むだけでなく、作るのもっと楽しいということを伝えていった。</p>	<p>例年は、太陽の広場のステージで開いていましたが、今回は雨風のため、鶴川図書館前のアーケード下にブルーシートを敷き、図書館よりマットをお借りしてディスタンスをとって行いました。荒天にもかかわらず、幼い子供たちとお母さんたちが来てくれました。</p> 	<p>・チェロでオリジナル楽曲を弾きながら大型絵本と絵本を用いた読み聞かせ</p> <p>・ものづくりコーナー、ハロウィンモチーフにしたマラカスなどの制作</p>	<p>●松ぼっくりツリー🌲作り：ペットボトルの蓋に粘土を詰めて松ぼっくりを固定し、ビーズなどを飾り付けて仕上げる</p> <p>●13時前より、キーボードで歌いながら大型絵本「はらぺこあおむし」を見る</p> <p>●みんなのそら、鶴川冒険遊び場のチラシ・パンフレットを配布する</p>
<p>生憎の天候のために、参加者は多くはなかった。それでも、前を通過する人の多くが、「本をつくろう」という文字に反応していた。☑</p> <p>「どのように本をつくるのか」「費用は？」などの質問を多く受け、予想よりも興味を持つ人は多かった。☑</p> <p>立ち寄ってくれた人数は、10名ほど。人数は少なくても、いろいろ質問してくる人は多かった。☑</p> <p>私がつくっている「みらひらナビ」というサイトにレポートをのせました。☑</p> <p><a href="https://www.mirahira.net/post/211019tsurukawa">https://www.mirahira.net/post/211019tsurukawa</a>☑</p>	<p>午前の部は子ども14名、大人16名。午後の部は、子ども8名、大人8名。</p> <p>プログラム（午前の部）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 わらのわらくんとチェロで始まりのご挨拶</li> <li>2 語り 「とりのみじい」</li> <li>3 大型絵本 「月ようびはなにたべる」</li> <li>4 大型絵本 「わにわにのおふろ」</li> <li>5 手遊び 「山からころころやまいも」</li> <li>6 大型紙芝居 「くれよんさんのけんか」</li> </ol> <p>プログラム（午後の部）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ブリキのカンタローとチェロで始まりのご挨拶</li> <li>2 語り 「ひとのいいねこ」</li> <li>3 小学生の手作り紙芝居の上演（3人） 鶴川第4小の4年生、真光寺小の2年生と5年生</li> <li>4 大型絵本 「どうぞのいす」</li> <li>5 手遊び 「かなづち」</li> <li>6 大型絵本 「しりとりのだいすきなおうさま」</li> <li>7 大型紙芝居 「なんにも仙人」</li> </ol>	<p>悪天候のなか、それなりに多くの方が参加して頂きました。</p> 	<p>午前中10時半頃から13時まで、親子16組程（子どもは30人以上）が参加。親子で一つずつ作り「去年も一緒に作ったよね」と喜ぶ姿も見られました。お昼頃には雨風が強く寒くなり出したので、お家でも作れるように、好きな松ぼっくりと飾りのビーズなどを選んで持って帰る親子も数組ありました。</p> <p>・大型絵本は、10人くらいが一緒に楽しんで♪聴いてくれました。</p>

	<p>小学生の紙芝居は、夏休みに行った“紙芝居作っちゃおう！紙芝居ワークショップ”で制作したものを発表してもらいました。幼い子どもたちは、目を離すことなく観ていました。終わって、発表した児童のお母さんが、「貴重な体験をさせていただいてありがとうございます」小学生の紙芝居は、夏休みに行った“紙芝居作っちゃおう！紙芝居ワークショップ”で制作したものを発表してもらいました。幼い子どもたちは、目を離すことなく観ていました。終わって、発表した児童のお母さんが、「貴重な体験をさせていただいてありがとうございます」と言ってくださったのがうれしかったです。</p>	<p>当日の様子を見て、鶴川団地が日頃から賑わっているのだろうと感じました。子供たちが様々な体験ができるイベントがあるのはとても良いことです。このような機会に参加させていただきありがとうございました。</p>	<p>雨天でもアーケードの中で開催でき、楽しんで交流できてよかったです。大人も子どももそれぞれの思いでの鶴川図書館応援の気持ち、工作しながらの会話や寄せられる質問などでよく分かったので、私達も地域の方々に元気をもらった感じです。</p>
<p>初めての試みで、悪天候ということで不安もあったが、とても楽しく参加させていただいた。ありがとうございました。「図書館は市民がつくり、育てるもの」と共感するところがあり、参加させていただきとても有意義だった。スマホ写真に、説明をつけてもらうとか。なにか考えたいと思います。</p>	<p>今回子どもの参加が叶ったことはやはり収穫ではなかったかと思う。つるかわ図書こ応援隊と共催した紙芝居ワークショップから連動して小学生が参加できたが、初めての紙芝居づくりで発表というのは無理があると懸念していたことが正直なところである。彼らの塾の先生の後押しがなかったら実現できなかっただろう。昔は地域の子供会活動があり、子どもたちは自分たちで演芸大会みたいなことをやって楽しんだものである。せっかくの団地に根ざしたお祭りが続けて行える中に、子どもたちも活躍するような取り組みを積み重ねて行けたらなあと思う。</p>	<p>すぐ近くのブースで遊び場のコーナーがあり、声量的にも物凄い盛り上がりおりました。読み聞かせコーナーとは少し距離を置いて設置すると良いのかなと感じました。</p>	<p>・図書館応援まつりの中で、地域で活動している団体同士の紹介の時間も取れるといいなと思いました（今年のように悪天候では無理ですけどね～）</p> 

(応援メッセージの続き)

- ・絶対必要!! 鶴川図書館残してください。
- ・近くの図書館をなくさないでください。本を借りられません。
- ・子どもたちが大好きな図書館です。ぜひ残してください。!!
- ・鶴川図書館 私たちの大切な図書館です。なくさないでください。
- ・鶴川図書館、思い出がいっぱいです。なくさないで!!
- ・鶴川図書館 なくさないで!! 直営で残してください。6丁目M
- ・いつもたくさん絵本が読めて有り難いです。これからもずっとなくなるほしくない!頑張ってください!

9-2.端切れでしおりづくり	まつり全体のこと、宣伝など
廣野美奈子	鈴木真佐世
<p>スーパーヤマザキのほうの入り口から入ってくる人も多いので、その近くでブースを持つと、まつりのことを知ってもらえるということもあって、パン屋さんの前にブースを設定。酒屋さんからお借りして酒のケースの上に、ベニヤ板を置いて、セッティング。子どもたちや親子が端切れとビーズなどで本のしおりや飾りを作りました。</p>	<p><b>事前準備 宣伝のこと：</b></p> <p>①チラシを作成し、9月20日に2500枚印刷依頼。28日に仕上がり、29日午前市民センターでメンバー数人に協力していただき、仕分け。その後メンバーが図書館と富岡さんのところに持参。また、森さんが鶴川6丁目を中心に800枚のポスティングを引き受けてくださった。私は、後日、チラシを持って、6保育園と2幼稚園の全園児に配布依頼、大蔵町内会280組に回覧依頼。</p> <p>②9月24日、ミニコミ誌と新聞社6社に掲載依頼。後日、タウンニュース社から掲載するとの連絡があり、10月24日号に掲載された。廣野さんの報告にタウンニュースを見て、ホームページでの雨天決行を確認して参加した方があったことを知って嬉しかった。</p> <p>③9月末に、町田の図書館活動をすすめる会のホームページの中の大好きの会のページに、チラシとともに開催のお知らせを掲載。同時にツイッターにもツイート。</p>
<p>参加者 29名。</p> <p>①何名かの親から、我が子が、こんなにも集中して何かを作る姿を見たのは、初めてという話をされていました。</p> <p>②親子も一緒に作っている、親子参加型は、互いに夢中になっていたり、子供のやりたい事を助けながら作っていた。</p> <p>③お父さんが、今日来ていないからと、お父さんの為に栞を作ってる男の子もいました。</p> <p>④柿生から、タウンニュースを見て、元幼稚園の先生とお子様が初めて参加していました。子供にとって、絵本は購入するとなると、絵本代だけでも月にしたら、多額なので、図書館は絶対に必要です。柿生の図書館へ行っている。今回は、WEBサイトも確認し、初めて来たと言っていました。</p> <p>⑤（親には）布とボタンと毛糸とリボンが寄付で、全てリサイクルと説明をし、物が溢れる世の中で、簡単に捨てずにいかに利用できるかな？という話も含めて盛り上がりました。</p> <p>⑥子供達は、楽しい、ワクワクする！という言葉、作ってる時や出来上がった時に言っていました。</p> <p>⑦栞を作りながら、カバンにもつけてよう！とそのような発想。素晴らしい！と思いました。</p> <p>⑧夢中になって真剣に作っている姿は、親も子ども素晴らしいな。と思いました。</p> <p>⑨今という年齢で作って、また来年も作る事で何年、子供の成長として記念になるとのことでした。</p>	<p><b>その他のこと：</b></p> <p>①9月14日に準備のための集まりをZOOMで行い、出展ブースと担当者を決定。各ブースで必要な机、椅子、ベニヤ板の数を訊き、後日、富岡さんに依頼。</p> <p>②9月半ばにみどりの森保育園のママさんプラスの出演を依頼。</p> <p>③図書館に、おはなし会のための備品貸出、図書館クイズ作成協力依頼。</p> <p>④「きんじょの本棚」にも出展を打診したが、代表の金城さんがその日は都合悪いということで、マップが載っているチラシを置いて、配布することになった。（100部送ってもらい、図書館を考えるブースに置いて配布。）</p> <p>⑤前日に、雨天の場合にアーケードで使えるような場所を下見。みどりの森の園長先生と共にプラスバンドの場所をお蕎麦屋さんの前と決めて、お店に依頼。</p> <p><b>当日のこと：</b></p> <p>朝、雨天だったが、7時に富岡さんと相談して決行を決断。大好きの会のページに雨天決行の旨を掲載。（チラシに、大好きの会のページのQRコードを載せたので、確認の上参加した方があった。）</p> <p>8時30分に集合。テントは張らない旨を伝え、どこにどのブースを配置するかをさがし、富岡さんとも相談しながら決定。ニュースポーツは、藺田さんとの事前相談では、他のブースが収まったところで、決めることになっていたが、担当の方たちとしては、最初から設定したい意向があり、少しトラブったが、最終的に場所が見つかり、机、椅子、ベニヤ板を物置から出して、所定の事前申告の数に合わせて各ブースに設置。（ママさんプラス：お蕎麦屋さん「浅野屋」の前、ブース1～3と9-①の松ぼっくりの工作、ニュースポーツの輪投げまでは、富岡さんの店とその左右あたりに。おはなし会とチェロと大型絵本は、図書館の前。ダーツは郵便局前。バルーンアートは、_____、端切れでしおりを作るブースはパン屋さんの前）マイクをプラスのところに設置。</p> <p>10時に、お蕎麦屋さんの前で、開会の挨拶（鈴木）。その後プラスバンドを10時半まで行い、10時35分からは図書館前でおはなし会開始。そのほかのブースもスタート。</p> <p>雨天の割には、子連れのお客様、お年寄り、若い方など、三々五々集まって見えて、それぞれ関心のあるブースに参加。</p>

パン屋さんの前でやっていました。☒パーヤマザキへ行く方が、何を  
してるのかしら？と、聞かれたくて、パン屋さんの前でやってよかつ  
た！パン屋、八百屋さん、お肉屋さんも、ニッコニコの笑顔でした。☒  
図書館が、センター商店街にあるので、このようなお祭りをする事で、  
初めてセンター商店街知ってもらえる事も含めて、各店舗にも貢献出来  
たら、良いな。とも思いました。☒

全体のことに気を配らなくてはいけない立場でしたが、おはなし会が午前と午後があり、他のブースをじっくり見て回るゆとり  
がなく、全体のまとめ役の役をちゃんと果たせず、申し訳ありませんでした。

鶴川図書館応援メッセージは、大人の方だけでなく、子どもたちも自分から書いて、貼ってくれました。

鶴川図書館の存続を願って撮影された15分のショートムービーも、パソコンの画面上ですが上映され、多くの方に見ただけ  
で良かったです。

今回初めて参加していただいた「英語の絵本を楽しもう」や「本を作ろう」のブースは、まだ知名度がなく、参加者は少なめで  
したが、本を愛する仲間として今後も一緒に図書館を盛り上げたいと考えています。

鶴川図書館も普段の土日の1.5倍の来館者があったとのうれしい報告をいただきました。



・雨のために効果的なブース配置が十分にできませんでした。本や図書館に関連したブースが隣り合って近くにあったのはよかつ  
たのですが、おはなし会のブースの隣にニュースポーツのブースを配置したのは失敗で、ダーツが成功するたびに歓声が起こり、お  
話を聞いている子どもたちには具合悪いことになりました。柿の木文庫の方からもさんさん音楽隊からも次回は調整したほうがい  
いとの声が上がりました。

・雨の場合にどこにどう配置するかを前もって十分に検討できていなかったために、当日の朝少しごたつきました。今回の経験を  
活かして、次回以降は、雨天の場合の配置をしっかり決めておいた方がいいと思いました。また、朝の動きを前もってメンバーに  
周知しておくべきでした。

・新しく参加した団体もありましたが、次回以降、少しずつ認知されるように工夫し、効果的な活動ができるといいと思います。  
関連した団体とのコラボレーションができていことを期待します。

まつりが賑わっている様子





## ニューススポーツ部門

菌田、他

### ●ラダーゲッター／皿回し

参加者 幼児、小学生32名 中・高生7名 大人26名

だいたい的人数です。何度も体験した方もあり。

(感想) 当日あいにくの雨、寒く参加者少なかったのは残念でした。

実施場所の制約があり、皆さんに思いきり楽しんでもらえなかった。雨天の場合も含め打合せが必要。(午後から場所を反対側に移したところ、参加が多くあり、幼児から高齢者まで参加がありました。高齢の方がラダーゲッターについて「初めてです面白いですね。」と夢中で楽しんでいました。家族で、友達で、三世代で対抗戦を行いました。皿まわしは皆さん頑張って練習して、回せるようになると得意げに嬉しそうに笑顔になりました。個人で、親子で、家族で(三世代ふくめ)遊んだり、かんたんなスポーツや音楽、読書、クラフト等に会える機会が多くあれ

ばと思いますが、サポートする人、経済的な面など、いろいろ課題があつてなかなか難しいです。

### ●スポーツダーツ体験会

1～20までの数字がならんだ円盤状的の的を置き、ダーツ(手で投げる短い矢)でその数字を狙う。

参加人数:60人程度

2歳くらいから80歳くらいの男女

(感想)

雨の降る中での開催でしたが、子供から高齢者まで、多くの人に楽しんでいただきました。

図書館の近くの場所だったので、ダーツを楽しみ、読み聞かせのコーナーに寄り、そして図書館に行くという一連の流れが出来ていたのも、図書館応援イベントという事を考えると良かったように感じます。ダーツブースの運営面では、昨年の反省を生かし、今年はより安全性を高めながら開催することが出来ました。

ポッチャ

体験者は大人、子供で30～40人(リピーターを含めて)。

ポッチャは誰でも知っていると思いきや、聞いたことがない、知らないという高齢者や大人が多かったのは驚きでした。普段はスポーツにあまり関心がないという人たちが来てくれました。図書館前というのが良かったのかもしれない。

●バルーンアート

作ったのは70人ぐらい。終了近くになって雨が止み、人出が急に増えて来ました。雨と寒いのは困りますが、それでも実施できることが分かったのは収穫でした。

